

IXIL トランス電源ユニット35W/60W 屋外用 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

-  **ポイント**
 - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
 - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
 - 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
 - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

警告

- トランス電源ユニット35W/60W 屋外用は壁面取付け専用です。天井面、据置き、本体より小さい取付面、傾斜面、湿気の多い場所には設置しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- トランス電源ユニット35W/60W 屋外用は地面より300mm以上離れた位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。
- 不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使用しないでください。火災・感電・落下の原因になります。



注意

- 人の通路付近への設置は避けてください。降雨および凍結により足を滑らせたり、小さなお子様は転倒や衝突によって思わぬ事故につながる可能性があります。
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の施工業者による施工をお願いします。

ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように600mm以上離して施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付けトルクで固定した後ゆるみがないか確認してください。
<推奨トルク>φ4ネジ: 2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

🔑ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<電気配線工事について>

⚠ 警告

- このトランス電源ユニットは交流100V以外では使用しないでください。（負荷にする器具は直流12V以外使用しないでください。）過電圧を加えると火災・感電の原因になります。
- 器具のすき間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。火災・感電の原因になります。
- 布や紙などの燃えやすいものをかぶせたりしないでください。火災の原因になります。
- 電源線・ケーブルを足を引っ掛けそうな場所に配線したり、地中に埋めないでください。けがや故障の原因になります。
- 濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 電源線・ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。電源線・ケーブルが損傷し、火災・感電の原因になります。
- 電源線・ケーブルに重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。電源線・ケーブルが損傷し、火災・感電の原因になります。
- 接続する電動商品・照明器具は、接続容量内で使用してください。接続は確実に行ってください。接続容量をこえて使用したり、接続が不十分になると、火災・感電の原因になります。
- 器具を改造したり、部品交換をしないでください。火災・感電の原因になります。

<施工の後に>

⚠ 警告

- カバーは必ず閉めた状態でお使いください。回路部分に雨水などが入ると火災・感電の原因になります。
- 異常を感じた場合、速やかに差し込みプラグを抜いてください。
- お手入れの際は差し込みプラグを抜くか、トランス電源ユニットの電源をOFFにする、または別で設けた「入切スイッチ」をOFFにして作業してください。火災や感電の原因になります。
- 必ず差し込みプラグを持って抜いてください。電源線を引っ張ると線が傷つき、火災・感電の原因になります。
- 電源線・ケーブルが痛んだら使用をやめ、電気店に修理を依頼してください。電源線・ケーブルが損傷し、火災・感電の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。ガス機器やその排気筒の上に取付けないでください。火災の原因になります。
- このトランス電源ユニットに接続する電動商品・照明器具は当社の直流12V用器具以外は使用しないでください。他の器具を接続しますと、火災・感電の原因になります。

梱包明細表

【1】トランス電源ユニット 35W・60W 屋外用

名称	略図	員数	
		35W	60W
トランス電源ユニット35W(屋外用) 本体		1	—
トランス電源ユニット60W(屋外用) 本体		—	1
[1-1] φ4×50十字穴付フランジ付タッピンネジ		2(※)	3(※)
[1-2] フィッシャープラグ 呼び径 30		2(※)	3(※)
[1-3] スペース		1(※)	1(※)
[1-4] 結束バンド		2(※)	4(※)
取付説明書 <Z546>	—	1	1
取扱説明書 <UZ278>	—	1	1

※トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

【2】トランス電源用スタンド

名称	略図	員数
スタンド本体		1
スタンドベース		1
[2-1] φ5×20皿タッピンネジ (3種)		2
[2-2] φ4×20トラスタッピンネジ (3種)		3
[2-3] M4 ワッシャー		3

【3】ジャンクションボックス (壁付用)

名称	略図	員数
ジャンクションボックス本体		1
取付説明書	—	1

【4】φ 16PF 管

名称	略図	員数	
		10 m	50 m
φ 16 PF 管 10 m		1	—
φ 16 PF 管 50 m		—	1

【5】φ 16VE 管

名称	略図	員数
φ 16VE 管 2 m		1

【6】接続部品

名称	略図	員数			
		ノーマルバンド	カップリング	φ16コネクタ(ジャンクション-PF管)	φ16コネクタ(ジャンクション-VE管)
φ16ノーマルバンド(VE管-VE管)		1	—	—	—
φ16カップリング(PF管-VE管)		—	1	—	—
φ16コネクタ(ジャンクション-PF管)		—	—	1	—
φ16コネクタ(ジャンクション-VE管)		—	—	—	1

【7】12V 屋外配線用電源ケーブル

名称	略図	員数	
		電源ケーブル	延長用
12V 屋外配線用電源ケーブル		1	—
予備Y端子		2 ※10m・20mのみ	—
12V屋外配線用電源ケーブル 延長用		—	1

※12V屋外配線用電源ケーブルの長さは500mm、10m、20mがあります。

※12V屋外配線用電源ケーブル延長用の長さは2.5m、5m、10mがあります。

【8】12V 地中配線用電源ケーブル

名称	略図	員数	
		電源ケーブル	延長用
12V地中配線用電源ケーブル		1	—
予備Y端子		2	—
12V地中配線用電源ケーブル 延長用		—	1

※12V地中配線用電源ケーブルの長さは10m、20mがあります。

※12V地中配線用電源ケーブル延長用の長さは2.5m、5m、10mがあります。

【9】12V 分岐ケーブル

名称	略図	員数	
		2分岐用	3分岐用
12V分岐ケーブル 2分岐 100 mm		1	—
12V分岐ケーブル 3分岐 100 mm		—	1
防水栓キャップ		—	1(※)

※ケーブルに取り付いています。

1. 基本寸法

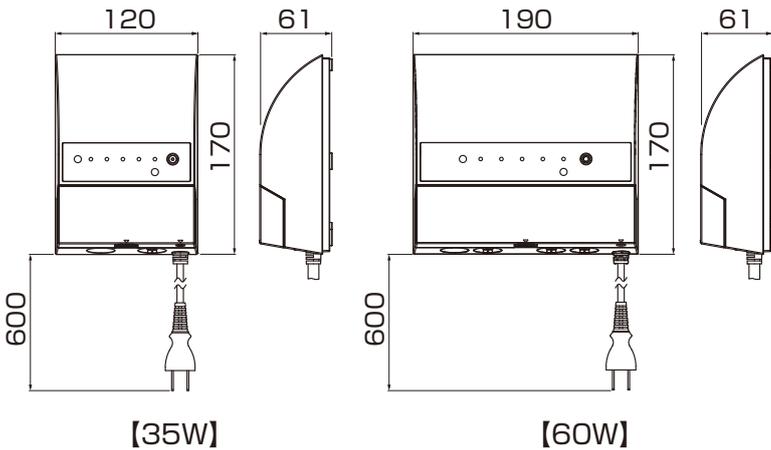
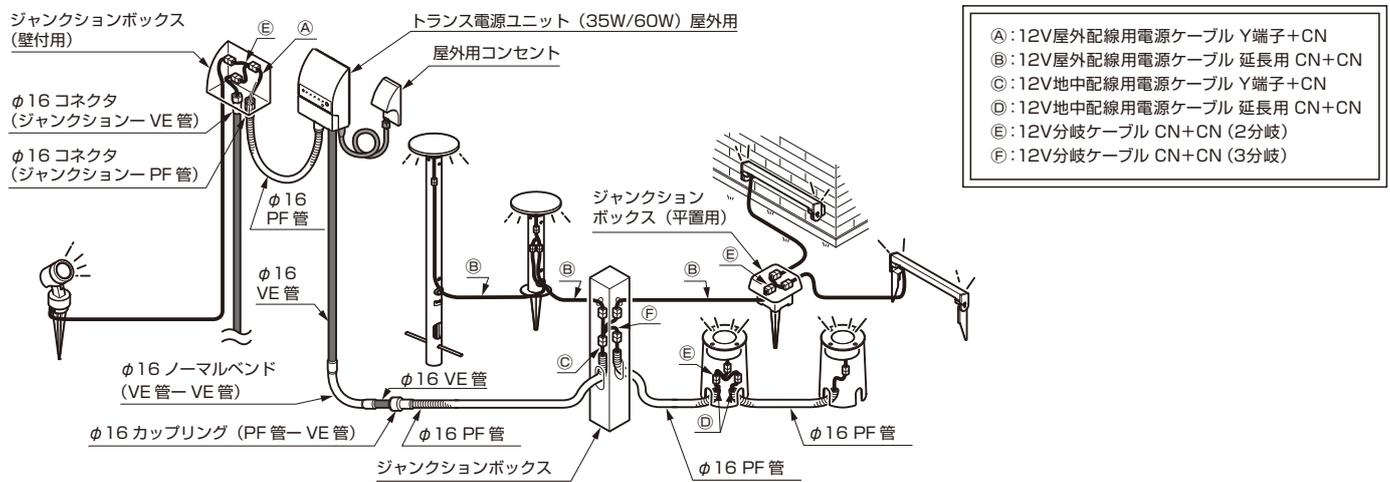


表1-1 仕様

	35W	60W
サイズ (mm)	幅120×高さ170×出幅61	幅190×高さ170×出幅61
重量	約0.7kg	約1.0kg
負荷接続容量	最大35Wまで	最大60Wまで
入力電源電圧	AC100V	
周波数	50/60Hz共用	
出力電圧	DC12V	
電源線長	約600mm	
スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ・電源・タイマー設定ボタン ・明るさ感度設定ボタン 	

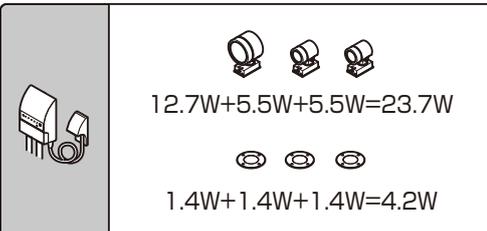
2. 施工イメージ



3. 施工前のご注意

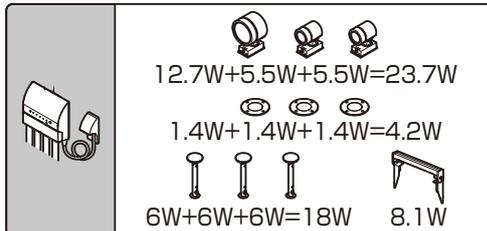
3-1 最大許容W数について

●トランス電源ユニット35W 屋外用



※ 1～2回路合計35W以下

●トランス電源ユニット60W 屋外用

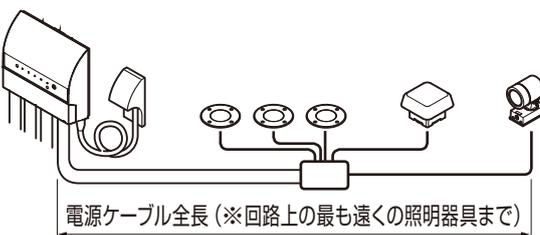


※ 1～4回路合計60W以下

⚠ 注意

●トランス電源ユニットに接続する照明器具の消費電力(W数)の合計が、「35W」または「60W」以下になるように、照明プランニングをおこなってください。

3-2 電圧降下について



電源ケーブルの長さに乗じて電圧降下が発生します。以下の計算式を使用して、電圧降下量が1.5V以下になるようにしてください。

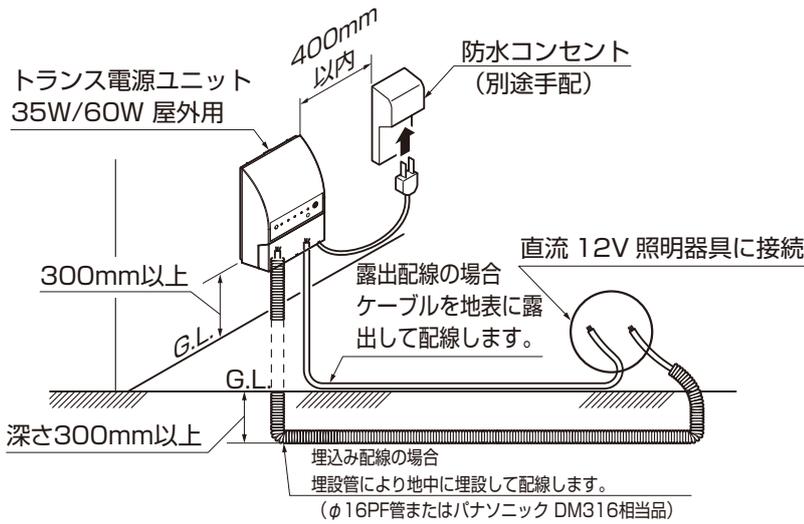
●電圧降下の計算式 ※ケーブル径 1.25mm²

$$\text{電圧降下 (V)} = \frac{0.0302(\Omega) \times \text{電源ケーブル全長 (m)} \times \text{消費電力合計 (W)}}{12 (V)} = 1.5 (V) \text{ 以下}$$

🔑 ポイント

●電圧降下量が1.5Vを超える場合、消費電力の低い照明器具への変更や電源ケーブルを短くするなどの変更を行ってください。照明が暗くなったり、チラツキの原因になります。

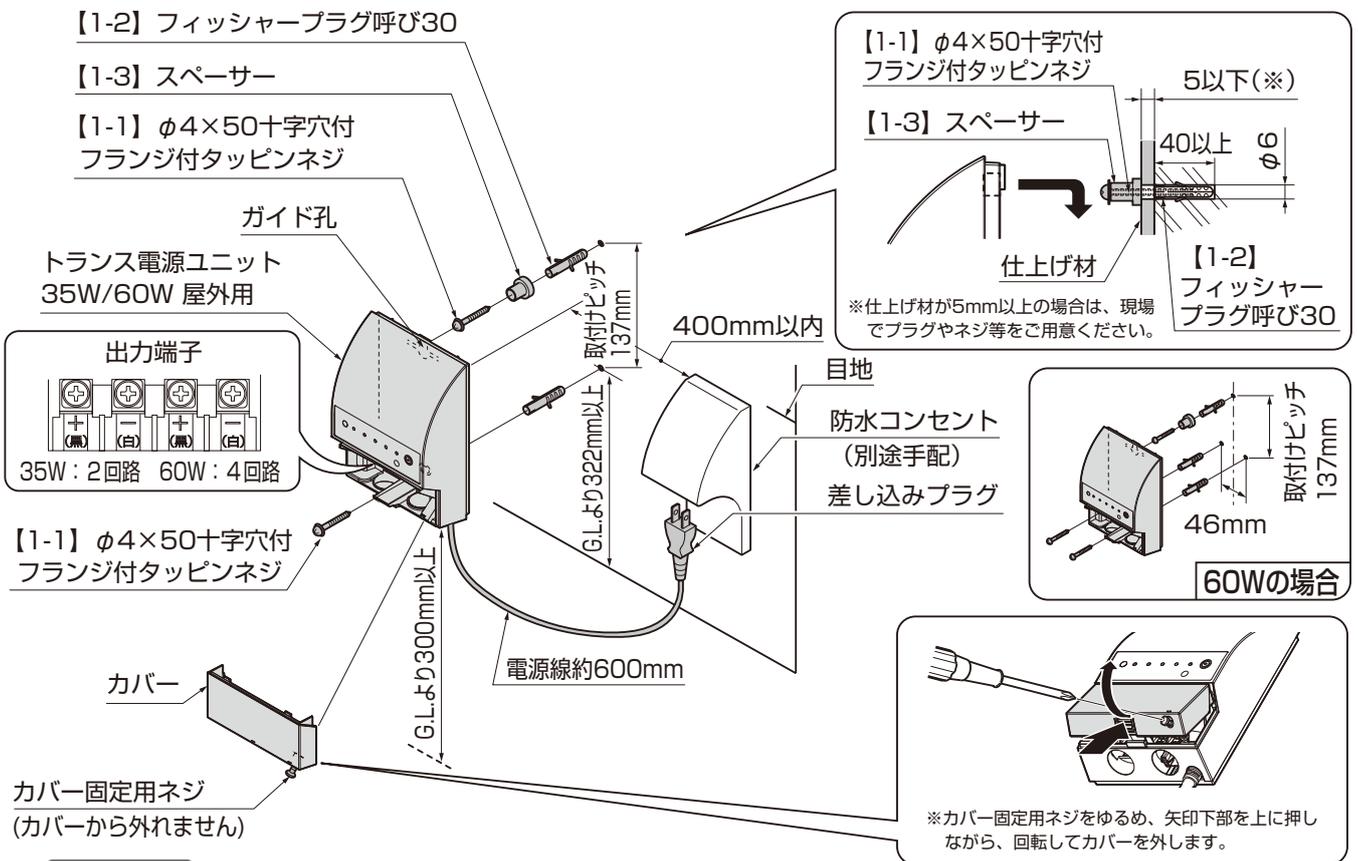
4. 配線工事



補足

- 埋込み配線の場合で車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。

5. トランス電源ユニット35W/60W 屋外用の取付け



注意

- 取付けは、安全のため差し込みプラグを抜いた状態で行ってください。通電状態で行なうと感電の原因になります。

ポイント

- ネジ止めする際は、手回しドライバーをご使用ください。

- ①カバー固定用ネジをゆるめ、カバー下部を上へ押しながらカバーを外してください。
- ②トランス電源ユニット35W/60W 屋外用を取付ける位置に合わせて取付け孔をけがき、けがいた位置に孔径φ6、有効深さ40mm以上の下孔をあけてください。
- ③【1-2】を下孔に埋め込んでください。
- ④【1-1】で【1-3】を壁に固定してください。
- ⑤トランス電源ユニット 35W/60W 裏面上部のガイド孔に【1-3】をはめ込み、【1-1】で壁に固定してください。

5. トランス電源ユニット35W/60W 屋外用の取付け つづき

警告

- トランス電源ユニット35W/60W 屋外用は地面より300mm以上離れた位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。

注意

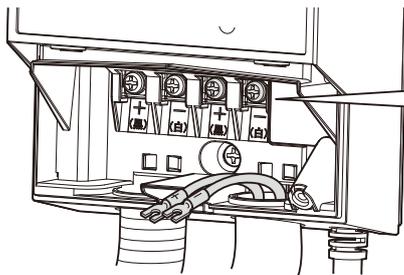
- ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。

ポイント

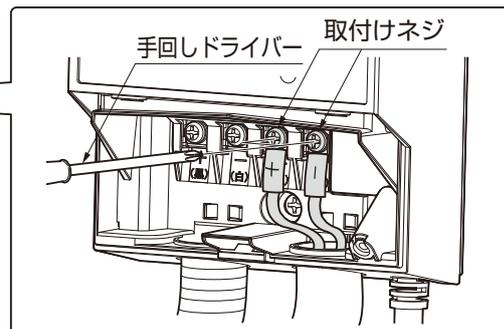
- 壁に有効深さ40mmの下孔をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグやネジの使用は仕上げ材の厚みが5mm以下(※)の場合としてください。5mmより厚い場合は、現場でプラグやネジをご用意ください。
- トランス電源ユニット35W/60W 屋外用と防水コンセントの間は400mm以内にしてください。
- 切り粉は必ず除去してください。

6. 配線の取付け

- ①出力端子の取付ネジを手回しドライバーでゆるめ、電源線を差込んでください。
- ②取付けネジを締め付けて、電源線が外れないことを確認してください。



※イラストは35Wで表しています。

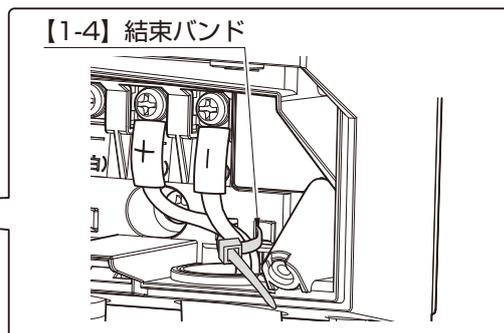


- ③【1-4】で電源線をトランス電源ユニット本体 35W/60W 屋外用本体に固定してください。
- ④電源線は取付け部分に力がかからないようにたるみをもたせて取付けしてください。

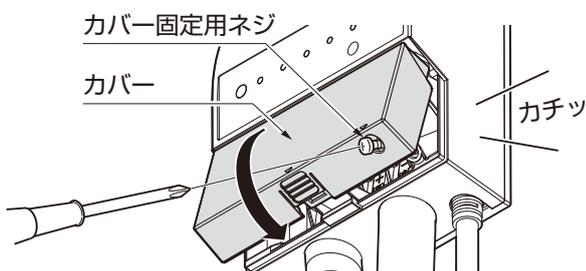
【1-4】 結束バンド



※イラストは35Wで表しています。



- ⑤カバーをカチッと音が鳴るように取付け、カバー固定用ネジを締めてください。



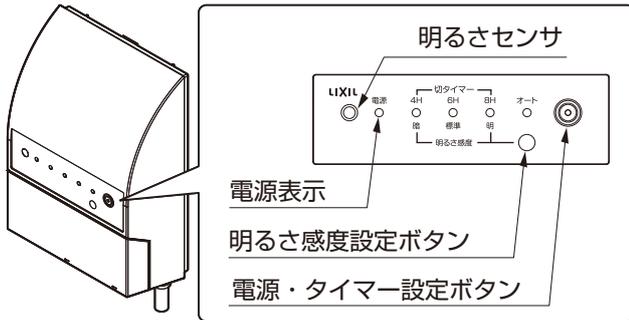
注意

- カバーは必ず閉めてネジ固定した状態で使用してください。ネジ固定されていない場合、雨水などが入り故障の原因となります。

ポイント

- ネジ止めする際は、手回しドライバーをご使用ください。

7. 点灯確認と機能説明



- ①電源・タイマー設定ボタンを1回押して、「電源表示」のランプが点灯状態になるようにしてください。
- ②接続した照明器具が点灯するか確認してください。照明器具が点灯しない場合は、再度配線を確認してください。

ポイント

- 明るさセンサの点灯確認の場合、検知してから約5秒後に点灯します。

※イラストは35Wで表しています。

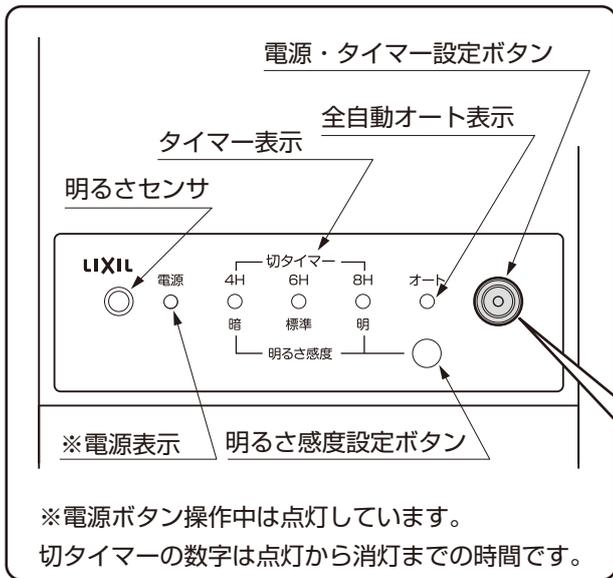
ポイント

機能説明

- 本製品は明るさセンサが内蔵されており、暗くなると自動点灯し、明るくなると自動消灯します。
- 明るさセンサの照度調整は3段階で調整可能です。

8. 設定方法

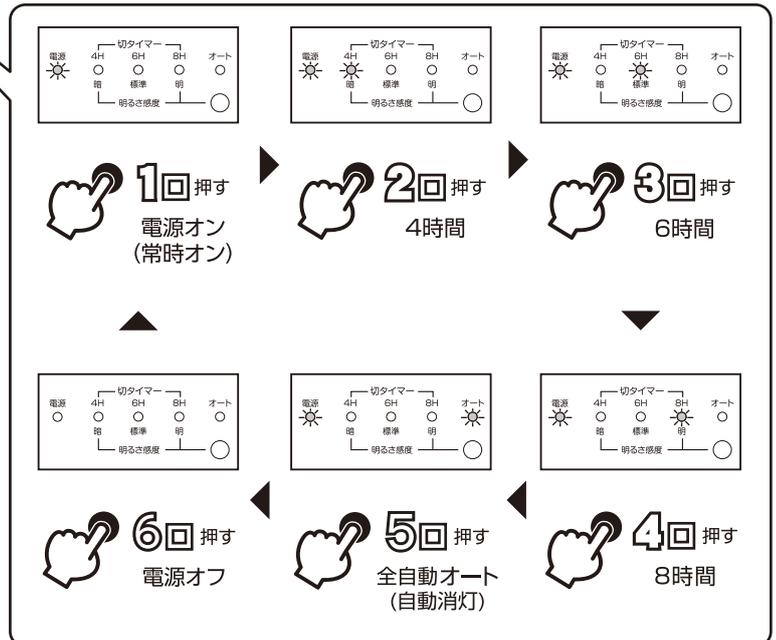
8-1 点灯時間の設定



●電源・タイマー設定ボタン

電源・タイマー設定ボタンを押すことで点灯時間を設定できます。

- ・常時オンの場合 : 明るさセンサ設定に関係なく、常時点灯します。
- ・切タイマー設定の場合 : 明るさセンサによって点灯してから、指定の時間後に消灯します。
- ・全自動オートの場合 : 明るさセンサによって点灯、消灯します。



消灯時間を夏と冬で変更したい場合

●切タイマー6時間に変更する

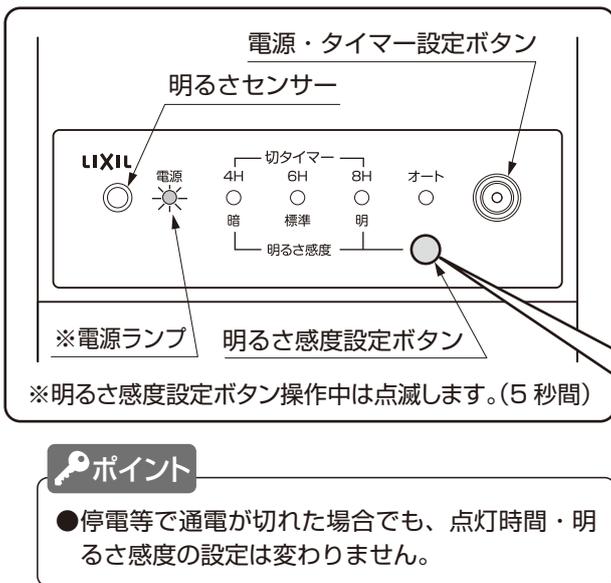


●切タイマー8時間に変更する



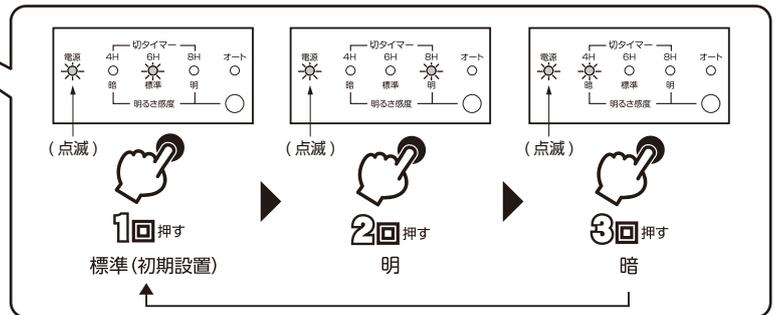
8. 設定方法 つづき

8-2 明るさ感度の設定



●明るさ感度設定ボタン

明るさセンサが内蔵されており、暗になると自動点灯し、明るくなると自動消灯します。
明るさセンサの照度は3段階で調整可能です。
暗：点灯 周囲照度 約10Lx、消灯 周囲照度 約90Lx
標準：点灯 周囲照度 約40Lx、消灯 周囲照度 約280Lx
(初期設定)
明：点灯 周囲照度 約200Lx、消灯 周囲照度 約1100Lx



9. スタンドの組立てと取付け

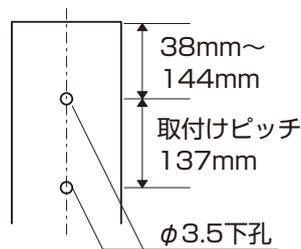
9-1 スタンドの組立て

①スタンド本体とスタンドベースを【2-1】2本で取付けてください。

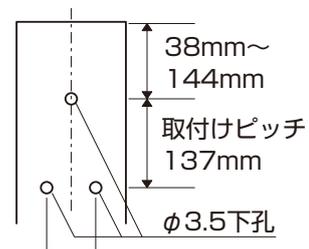
9-2 トランス電源ユニットの取付け

- ①トランス電源ユニットを取付ける位置に合わせて取付け孔をけがき、けがいた位置に孔径 $\phi 3.5$ の下孔をあけてください。
- ②スタンド本体の背面側に孔径 $\phi 7$ の水抜き孔をあけてください。
- ③【2-2】【2-3】で【1-3】をスタンド本体に固定してください。
- ④トランス電源ユニット35W/60W裏面上部のガイド孔に【1-3】をはめ込み、【2-2】【2-3】でスタンド本体に固定してください。

■35Wの場合



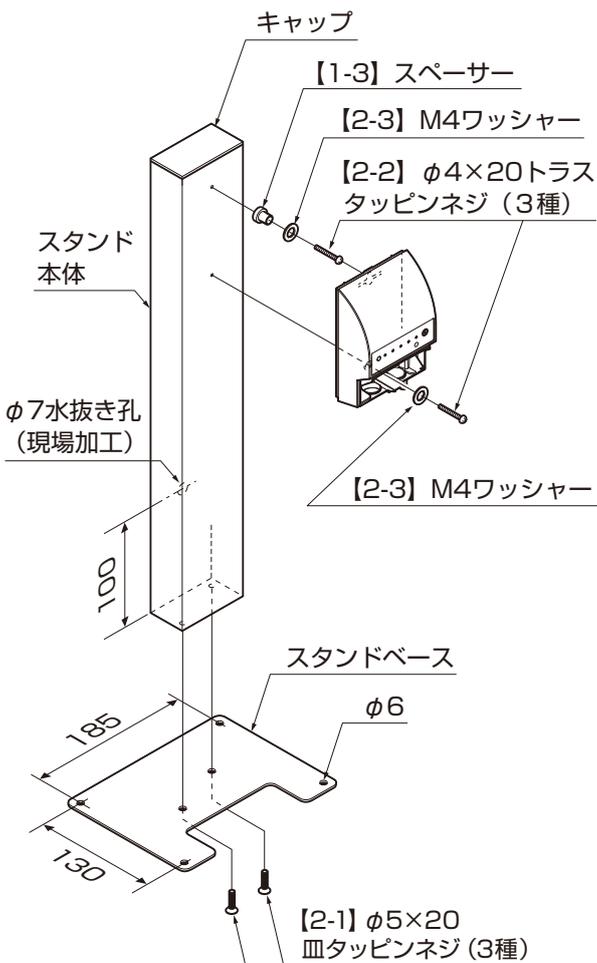
■60Wの場合



※35Wの場合【2-2】【2-3】は2本しか使用しません。

ポイント

●風が強くスタンドが倒れるおそれがある場所へ設置する場合は、ベースの $\phi 6$ 孔を使用してアンカーボルト等(別途手配)で固定してください。



取説コード

Z546

JZZ630447
201502A_1047